

JAグループ神奈川

<http://www.jakanagawa.gr.jp/>

バックナンバーはこちらから

じゃ  
いいJAん!

# かながわ明日すリート

34



相撲

 遠藤 隆生  
 (18)  
 \*  
 川崎市在住

空手で日本一を経験し、バスケツトボールでは県選抜に選ばれるなど、類いまれな身体能力を示してきた若き才能が、この春に角界入りする。県立向の岡工業高校を卒業後に二子山部屋に入門する遠藤隆生選手(3年)は、183<sup>センチ</sup>146<sup>キログラム</sup>の恵まれた体格を生かして、新たな舞台での飛躍を期す。

小学生当時、護身用として親から勧められた空手は「大会で勝つ度に、さらに大きな大会でも勝ちたいと思うようになった」。舞台は全国にまで広がり、最終学年で全国制覇を成し遂げた。

中学進学後は「空手日本一」の称号を傍らに置き、並行して取り組んでいたバスケツトボール一本に絞る。空手で培った筋力と体の強さを生かしてチームの支柱となり、県内多数の選手に成長した。「さまざまなことを経験して、新たな世界を切り開きたかった」。飽くなき向上心を原動力として各競技で結果を残してきた逸材が、高校で新たに挑戦したのが相撲だった。

各競技を通じて鍛えられた腕力や長いリーチを突き相撲四つ相撲に生かすよう指導を受け、昨年には同高を全国大会(団体戦)8強へと押し上げた。「相撲を始めて3年足らず。自分にできるのは、基礎を積み重ねていくことだけだった」という「ひた向きさ」も18歳を後押しする。

昨秋には同部屋を訪れ、「プロ」の迫力を体感したが「どれくらい通用して強くなれるのか。まずは幕内を目指し、これまで支えてくれた人たちに恩返しをしたい」と胸を躍らせる。JAグループ神奈川から贈られた、県内産米「はるみ」15<sup>キログラム</sup>を軽々と持ち上げて相好を崩す。「これを食べて二回りくらい大きくなりましたね」。大相撲の土俵で活躍する日が待ち遠しい。


 JAグループ神奈川は、  
 神奈川のアスリートを応援しています。